

## 災害拠点病院支援マニュアル（案）

### 1. 支援開始前

病院が医療支援の必要性と意義を認識して支援を受け入れる意志があるか確認

※万一問題あれば DMAT は災害急性期医療の核心部分を訓練されており組織的に支援できることを説明し協力を申し出る

### 2. 指揮命令系統確立、情報収集

#### ●DMAT 指揮命令系統の確立

統括 DMAT が本部設置

DMAT 登録（パソコンの利用が望ましい）

登録 DMAT の EMIS 入力

DMAT の待機/休憩場所の確保

※必要に応じ統括業務の補佐者をおく

※ホワイトボード掲示や定期的なブリーフィングにより情報共有に務める

#### ●院内の指揮命令系統の確認

病院側の責任者、連絡窓口担当者を確認

病院側の支援要請内容を確認（指揮、3T）

院内の災害対策本部ミーティングに参加させてもらえるよう依頼（他の支援チーム代表や消防の連絡員も交えた定期的な情報交換を提案）

DMAT 活動の確認（活動要領に基づく DMAT 業務内容、活動期間）

#### ●情報収集

災害の概要（ライフラインや建物被災状況、死傷者数）

病院建物や診療機器等インフラの被害状況

病院のマンパワー、医療資機材、検査可否の確認（診療能力はどれだけ残っているか）

通信手段確立（外部との連絡、院内の連絡、DMAT 内、DMAT と病院スタッフ間）

周辺地域の医療体制把握（救命救急センターや二次医療機関、転送先は？）

自治体の災害対策本部、医療本部との連絡調整（連絡手段は？、ヘリ搬送要請の手順）

消防本部との連絡調整（連絡手段は？、搬送要請の手順、現場出動要請）

※他機関との連絡窓口は一本化（病院側担当者経由で依頼するなど）し情報の錯綜を防ぐ

※テレビ（ワンセグ）、ラジオ、パソコン（インターネット環境が望ましい）とプリンターがあるとよい

### 3. 支援開始

病院側の要請に基づき共同で支援計画を立案する

支援計画に基づき他の支援チームおよび DMAT 内で業務分担を行う

部門別あるいは職種別にリーダーを決定する

リーダーを介して各部門の状況、ニーズ（人的、物的）情報を集約する

※指揮命令系統構築や物品使用法周知の手間等を考えると各部門に応援要員を出すより一つの部門を一括請負するほうがよい（トリアージ、搬送同乗など）

※搬出トリアージなど専門知識を要する部門は訓練された支援チームが担うべき

※各部門のニーズは刻々変化するため、情報に基づく転属、再配置を柔軟に行う

※マンパワーに余裕があればローテーションを組み交代制を考慮する

#### ●トリアージ部門

病院前トリアージポストが設置されているか確認

トリアージ後の傷病者動線を確認（救急車搬送と一般来院双方に対応できるか）

搬送車両の動線の確認

タグの使用、患者登録の方法を確認

車両誘導、トリアージ、緑黄赤各診療ゾーンへの誘導、それぞれの担当者とリーダーを決定

#### ●治療部門

トリアージ後の動線設定、重症度別の治療ゾーンニング

緑黄赤（黒）各診療ゾーンそれぞれの担当者とリーダーを決定

※人的・物的資源は赤ゾーンに集中して投入すべき

※時間や手間のかかる処置は原則として行わない

※手術などの決定的治療は原則として行わず被災地域外病院に依頼すべき

#### ●搬送部門

転送先手配、搬送手段手配、搬出トリアージそれぞれの担当者とリーダー決定

広域搬送マネジメント（適応患者の拾い上げ、広域搬送カルテ記載）

※転送先の決定、搬送手段手配は地元の事情に詳しい者と協力して行う

※分散搬送が原則だが、送り手の負担を減らすために拠点となる搬送先病院からの二次搬送を考慮する（被災地外 SCU のような機能）

※ヘリポートが離れている場合、そこまでの搬送専用車両を確保

※ヘリポートには資機材を持ったチーム派遣（患者を溜めないように搬送タイミングの調整、患者状態の最終チェック）

#### 4. 支援終了・撤収

活動の目的が立った時点で DMAT 撤収後の医療支援につき要否含め調整を依頼しておく

医療需要を見極め DMAT の活動終了予定日時を決定

活動終了、撤収計画を各 DMAT に通知し厚労省、災害医療センターに連絡

各 DMAT は派遣元との連絡調整、EMIS 入力を行う

必要に応じ後継の医療支援チームと業務引継ぎを行う

#### 5. その他

現場出動要請には PPE の完全なチームを派遣する

病院スタッフとの良好な人間関係の構築には忍耐と寛容が重要

病院スタッフも被災者であり精神的支援も要することに留意する

資料

医療記録（カルテ等）について

チーム名: _____		出発地: _____		経由地: _____	
		出発時間: _____		経由時間: _____	
	役割	隊員名	職種	血液型	既往歴
1	リーダー		医師・看護師・調整員		
2	サブリーダー		医師・看護師・調整員		
3			医師・看護師・調整員		
4			医師・看護師・調整員		
5			医師・看護師・調整員		
6			医師・看護師・調整員		

C	指示受け日時	① 月 日	② 月 日	③ 月 日	④ 月 日	⑤ 月 日
		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
	指示を受けた相手					
	活動場所					
	活動内容					
	協力チーム					

S	<b>【安全確保の大原則】 3S<sup>®</sup> (自分、現場、生存者)</b>	
	<b>【安全確保の要領】</b>	
	Step1	ハザードの認識
	Step2	ハザードの危険度合いの評価
	Step3	危険の軽減策・予防策の検討
	<b>【活動開始前チェック項目】</b>	
	<input type="checkbox"/> PPE(ヘルメット、ユニホーム、手袋、安全靴、ライト、マスク、ゴーグル)	
	<input type="checkbox"/> 資器材	
<input type="checkbox"/> 無線・ホイッスル		
<input type="checkbox"/> 避難経路の検討と必要時確保		

C	<b>【情報伝達手段】</b>		連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
	①伝令+メモ	常に確認せよ!				
	②メガホン、笛	通信可能範囲か?				
	③無線機	電源・電池の残量?				
	④電話(携帯+衛星)	相手はだれか?				
	⑤メール					

A	自由記載欄	
	M:	
	E:	
	T:	
	H:	
	A:	
	N:	
E:		

T		① 月 日	② 月 日	③ 月 日	④ 月 日	⑤ 月 日
		時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点
	赤	人	人	人	人	人
	黄	人	人	人	人	人
	緑	人	人	人	人	人
	黒	人	人	人	人	人

T		① 月 日	② 月 日	③ 月 日	④ 月 日	⑤ 月 日
		時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点
	治療待ち	人	人	人	人	人
	治療内容					
	治療済み	人	人	人	人	人

T		① 月 日	② 月 日	③ 月 日	④ 月 日	⑤ 月 日
		時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点	時 分時点
	搬送待ち	人	人	人	人	人
	搬送先・手段					
	搬送済み	人	人	人	人	人

資料

## 被災地内での情報通信手段

## 2. 被災地内での情報通信手段

### DMAT 共通波の確保

○災害時の被災地内での通信の方法として MCA 無線(デジタル無線)を検討してきたが、いつ、どこで発生するかわからない災害時のための通信手段としては不適當であることが判明している。

○現在 DMAT が保有している無線は特定小電力無線(0.01W 以下)で、近距離の通信しかできない

○日本赤十字社やドクターヘリは独自の無線局を開設しており(独自の使用周波数を保有している)、その有効性は明らかである

○DMAT が保有している衛星携帯電話は、移動中の通信には不向きである  
→DMAT も独自の周波数を保有し、相互に無線通信が不可欠である。

### 課題

○電波法に定める無線局として、総務大臣の免許を受けることが必要である  
→ドクターヘリはそれぞれの都道府県が無線局として免許を受けている。

○無線局の申請(新周波数あるいは従来ある周波数の使用許可)

○無線管理者ならびに無線管理運営規程

○無線管理者、使用者の講習、免許取得

○無線機器の整備

○具体的運用方法の検討と訓練→統括 DMAT 研修会あるいはロジ研修会と連動

# 〇〇DMAT 災害用無線管理運営規程

昭和〇年〇月〇日

## 目次

第1章 総則(第1条—第9条)

第2章 運用(第10条—第20条)

第3章 管理(第21条—第25条)

第4章 雑則(第26条)

## 附則

第1章 総則

### (趣旨)

第1条 この規程は、防災事務及び一般行政事務に係る無線通信(以下「通信」という。)の円滑な運営を確保するため、〇〇に設置する防災災害用無線(以下「防災災害用無線」という。)の管理、運営等につき必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に掲げるとおりとする。

- (1) 無線設備 電波法(昭和25年法律第131号)第2条第4号に規定する電氣的設備をいう。
- (2) 無線局 電波法第2条第5号に規定する無線局(無線局の無線設備から延長して設けられた通話設備及びこれを操作する者の総体を含む。)をいう。
- (3) 統制 円滑な通信を確保するため、通信の制限又は指定を行うことをいう。
- (4) 統制局 次条に規定する全市移動系、地域防災系、多重固定系及び同報系に係る通信の統制を行うための無線設備(以下「統制台」という。)及びこれを操作する者の総体をいう。

### (通信の系統)

第3条 防災災害用無線の送受信の業務(以下「無線通信業務」という。)を行うため、〇〇に次の各号に掲げる通信系統を設ける。

- (1) 全市移動系 基地局(電波法施行規則(昭和25年電波監理委員会規則第14号。以下「施行規則」という。)第4条第1項第6号に規定する無線局をいう。以下同じ。)と移動局(施行規則第4条第1項第12号に規定する無線局をいう。以下同じ。)との間又は移動局相互間で無線通信業務を行う通信の系統(地域防災系を除く。)をいう。
- (2) 地域防災系 基地局と移動局との間又は移動局相互間で地域防災無線通信により無線通信業務を行う通信の系統をいう。

### (無線局の設置)

第4条 移動系に属する無線局は、別に定める組織に設置する。

2 地域防災系に属する無線局は、別に定める組織に設置する。

3 前各項に規定する無線局の呼出名称及び無線設備の種別は、別に定める。

### (統制局の設置)

第5条 統制局は、〇〇に設置する。

### (統制管理者及び副統制管理者)

第6条 〇〇に統制管理者及び副統制管理者を置く。

2 統制管理者は〇〇を、副統制管理者は〇〇をもって充てる。

3 統制管理者は、無線通信業務全般を総括する。



4 副統制管理者は、統制管理者を補佐し、統制管理者に事故があるときは、その職務を代理する。

#### 第7条 削除

(無線管理者)

第8条 無線局の無線通信業務を掌理するため、無線管理者を置く。

2 無線管理者は、第4条第1項、第2項、第3項又は第4項の規定により無線局が置かれた〇〇をもって充てる。

(無線担当者)

第9条 無線局に無線担当者を置く。

2 無線担当者は、当該無線局の無線管理者が当該無線局が置かれた組織に所属する職員のうちから指名する。

3 無線担当者は、当該無線局の無線管理者の命を受けて、当該無線局の運用の管理、通信の操作及び無線設備の維持管理を行う。

#### 第2章 運用

(無線局の義務)

第10条 無線局は、電波法その他の法令を遵守するとともに、統制局の指示に従い、かつ、通信の独占を排して相互に協調し合わなければならない。

(通信の原則)

第11条 通信を行うときは、適正かつ簡潔に行うとともに、略語は、電波法その他の法令に規定するものを使用するものとする。

(運用時間)

第12条 無線局の運用時間は、原則として、〇〇による。

(無線局の開局)

第13条 無線局は、次の各号に掲げる場合においては、必ず開局しなければならない。

- (1) 〇〇が設置されたとき。
- (2) 有線通信機能が不能となり、又は不能となるおそれがあるとき。
- (3) 統制局が指示したとき。

(通信の種類)

第14条 通信の種類は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 普通通信 平常時に行政事務用に行う通信をいう。
- (2) 災害通信 非常災害若しくは緊急事態が発生し、又は発生するおそれがある場合において、普通通信の全部又は一部を制限して行う通信をいう。
- (3) 非常通信 電波法第52条第4号に規定する通信で他人から依頼されたものをいう。
- (4) 試験通信 通信の状態又は無線設備の作動状態を試験するため、任意の相手方と感度又は明瞭度の照会を行う通信をいう。

(通信の順位)

第15条 通信の順位は、前条第2号に規定する災害通信及び同条第3号に規定する非常通信を第1順位とし、その他の通信を第2順位とする。

2 同一順位の通信においては、人命の保護に関する通信を優先しなければならない。

(通信統制)

第16条 統制管理者は、非常災害若しくは緊急事態が発生し、又は発生するおそれがあるときその他

資料

DMAT としての救護所活動・保健活動

## DMAT としての救護所活動・保健活動

厚生連村上総合病院 林 達彦

### I. 活動の開始条件・タイミング

DMAT の本来業務である超急性期医療が、需要に対し供給が十分になされ、余力（チーム）が存在し、現地の災害医療コーディネータを中心とした医療班本部会議などで、DMAT に対し、救護所活動・保健活動を求められたとき。

### II. 活動の指揮系

統括 DMAT の指示のもとに、地域災害医療対策本部・現場本部（災害医療コーディネータチーム）に入り活動する「救護所活動・保健活動」担当 DMAT（以下、担当 DMAT）を選定し、この指示に従う。

### III. 活動の実際

#### ① 現場本部（担当 DMAT）の役割

- 医療支援班や地域災害対策本部、地域医療機関などの代表者会議構築・運営に参加する。
- 被災地の被災状況ならびに派遣医療ニーズの把握、被災地情報収集（二次災害を含む）
  - ・ 災害対策本部（都道府県災害対策本部、市町村災害対策本部）の救護所・避難所の設置状況・収容状況
  - ・ 日本赤十字社、被災地あるいは被災地周辺医師会、被災地災害拠点病院、被災地域消防本部、地域保健師、医療先遣隊（急性期災害医療支援班）との情報共有どのような組織がすでにどこで活動しているか知ることが重要。各組織の連絡先電話番号、情報交換担当者名などを把握する。
- ・ テレビ・新聞・ホームページからの情報収集。
- ・ 周辺医療機関の場所の把握と被害と機能
- ・ 救急患者の受け入れ病院の確保
- ・ 慢性疾患増悪患者の受け入れ病院の確保
- ・ 地元医療機関の収容能力
- ・ 地元医師との話しあい。役割分担の確認。

- 情報伝達方法の確認
  - ・ 災害対策本部、所属組織あるいは機関との情報伝達方法確認
  - ・ 情報交換担当者や定期情報伝達時間の確認
- 医療班活動方針確認
  - ・ 診療方針統一（記録・携行機材）
  - ・ 構成要員の役割分担（健康管理、記録、連絡）
  - ・ 患者搬送経路確認
  - ・ 活動地域決定
    - 活動目的地までの移動経路・手段を確認
    - 活動予定地域の地域災害対策室担当者へ連絡
  - ・ 自己完結的活動の準備
    - 食料・水の確保
    - 被災地での交通手段確保（地図、カーナビの提供・確保）
    - テント・寝袋などの必要性検討、宿舎の決定
  - ・ マスコミ対応方法確認
- 被災地（救護所・避難所）における医療活動
  - ・ 朝夕の医療班代表者定例会議参加・運営
    - 各班の活動計画作成
  - ・ 地域保健医療情報収集分析（ニーズ変化の把握）
    - 避難所内感染症流行監視、日報作成
  - ・ 所属機関への定例報告
    - 後発医療支援班の必要性判断
  - ・ スタッフ、地元災害対策本部のメンバーの健康管理
- 医療班、薬剤などの需要と供給の管理
  - ・ 人材供給（医療等ボランティア、NPO活動の把握と対応の体制）
  - ・ 薬剤供給
  - ・ 薬剤以外の物資供給
  - ・ 供給資源輸送・患者搬送ルートの確保
  - ・ 輸送手段の確保
  - ・ 需要と供給のマッチングシステム確立
- 引継ぎ・撤退の決定
  - ・ 後発医療支援班到着確認

- ・患者の引き継ぎ紹介
  - ・引継ぎ機材、薬剤リスト作成
  - ・撤退条件の確認（地域医療機関やライフラインの復旧などの確認）
  - ・活動報告書の作成
  - ・所属施設医療班撤退の場合、地域災害対策本部の了承取得
- (□ 心のケア、エコノミークラス症候群・肺塞栓症・廃用症候群の予防、公衆衛生活動を行なう。)

## ② 救護所活動

### 1) 出発前

- 情報収集のうえ、派遣目的地、派遣ルート、派遣人員構成を決定
  - 活動地点での電気、水道、ガスなどのライフラインの状況を確認
  - 携行物品（看護関連物品を含め）・資材物品の準備
  - 車両には前部と後部に救護班と判る表示
  - 出発前に情報を共有化するための打ち合わせ実施
  - 現地の気候と流行が予想される感染症
  - 巡回診療が必要か、また可能か（移動手段の確保）
- 
- 現地のライフラインに応じた看護・保健衛生活動に必要なパンフレットを準備（停電の場合は、事前に必要枚数をコピーして準備する）
  - 被災状況と収集した情報により、想定される看護の準備をする

### 2) 現地での活動準備

- 移動中は、可能な限り、マスコミ情報・ネット情報・自施設・地元自治体から情報を取得
- 被災地に入ったら、災害対策本部、担当DMAT（自治体、医療機関、大規模避難所）で情報を収集
- 携帯電話の不通も予想されるため、自施設へ定時に連絡
- 車両の燃料切れを起こさないために早め早めに燃料補給
- 被災地へ入る直前に食料等物品調達を再確認
- 深夜の行動は、道路事情が悪い場合は禁止
- 他チームと合流した場合は共同活動を試みる・情報を共有化
- 活動地点での電気、水道、ガスなどのライフラインの状況を確認する

- 活動地域を地図で把握する（担当DMATより、地図の入手）
- 避難場所と避難者の人数を把握する。（担当DMATより入手）
- 地元医療機関の被害と機能）
- 周辺医療機関の場所の把握と被害と機能）
- 救急患者の受け入れ病院の確保）
- 慢性疾患増悪患者の受け入れ病院の確保）
- 地元医療機関の収容能力）
- 地元医師との話しあい。役割分担の確認。）
- 他の支援チームとの役割分担の決定）
- 他の医療チーム（心のケア、こどものケア等）が被災地に入っているか確認する
- 医療救護所内の設営をする
- 医療救護所内に衛生材料・看護物品の保管場所を確保する
- 診療の手順についてメンバー内で取り決めをする
- 診療録の取り扱いについて、メンバー内で取り決めをする
- 連絡体制がない場合、状況に応じて作成する

---

- 地元保健師や看護師の活動状況から、どの程度活動を援助すればよいのかを検討する
- それぞれの保健師・看護師の連絡体制のとりかたを確認し、連携に努める

### 3) 救護活動

- 救護所内の指揮命令系統を確認
- 日々の出来事を記録
- 他チームと様式等をなるべく統一（活動状況報告書を参照）
- 診療受付、連絡調整、巡回診療補助、掲示物管理等の診療補助業務を積極的に実施
- 補充物品の調達
- 自チームの活動日数を自施設と調整
- 自チームの活動は後続へどう繋げていくかローテーションを検討
- 医療関係者らしく被災地のマナーを厳守
- 一般ゴミ、医療ゴミを分別し、最後まで責任を持つ。医療廃棄物の処理

に気をつける

- 医療チームの健康を守るため食事、活動時間等の生活環境を整える
- 定点診療を行なう
- 巡回診療を行なう
- 往診を行なう

( 心のケア、肺塞栓症・廃用症候群の予防、公衆衛生活動を行なう)

- スタッフ、地元災害対策本部のメンバーの健康管理
  - 重症化しそうな患者を後方支援病院に転送する
  - 慢性疾患患者の処方または処方薬の取り寄せを行なう。
  - 診療録・医療支援活動日報の記載と分析
  - 救急セット、携帯薬品、その他の物品の確認
  - 定時にミーティングを行なう（地元保健担当者、地元医師、他の救護班）
  - 医療救護所で、医師の診療介助を行う
- 
- 巡回診療に同行し、被災者のニーズの把握に努める
  - 巡回診療に同行し、保健衛生指導パンフレット等を用いて行う
  - 巡回診療に同行し、イソジンガーグル・弾性ストッキング・マスク・速乾式手消毒剤等を配布する
  - 巡回診療に同行し、必要に応じて被災者の清潔援助を行う
  - 巡回診療に同行し、生活物資の過不足の確認をし、災害対策本部等を經由して供給する
  - 巡回診療に同行し、高齢者の活動レベルの低下の有無を確認しリハビリについて指導する
  - 他の医療救護班等と連携をとり、衛生材料等の不足についてカバーする

#### 4) 撤退・引継

- 医療活動の必要性が残っている撤退か、必要性がなくなった撤退であるか見極める（他の医療チームに引き継ぐか、医療機関に引き継ぐか医療の継続性を図り撤退）
- 撤退について地元自治体、地元住民（区長等）、地元医療機関の了承を得る
- 診療録は整理し、引き継ぎ機関を確定
- 撤退のための移動手段を確保

- 持ち帰る荷物の整理
- 撤退する際は清掃し、医療廃棄物を含めて持ち帰る
- 感染症流行のないことを確認する
- 活動終了時の衛生材料の残数を点検し、取り扱いを検討する
- 活動終了時の携行資機材の定数を確認する
- 救護活動を行う際に連携をとって活動していた相手に、活動終了の連絡を行う
- 救護活動を他の班に引き継ぐ場合は、活動状況や使用物品の残数等を正確に報告する



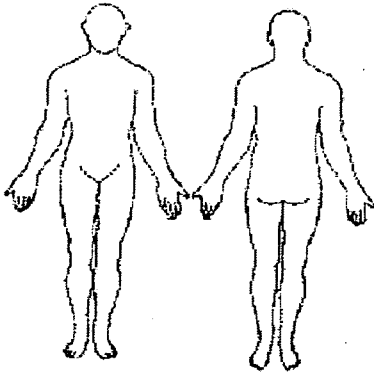
搬入物品一覧

品名	災害発生から3日～1週間以内の出動				災害発生から1週間～1ヶ月の出動				災害発生から1ヶ月以上の出動			
	品名	単位	数量	重要度 A B	品名	単位	数量	重要度 A B	品名	単位	数量	重要度 A B
現金	円	適量	○		現金は、左記に同じ				現金は、左記に同じ			
寝袋	個	人数分	○									
ユニフォーム	セット	人数分	○		生活用品は、左記に同じ				生活用品は、左記に同じ			
毛布	枚	人数×2枚	○									
懐中電灯	個	人数分	○									
乾電池(各種)	個	適量	○									
ポリタンク1個	個	2	○		※以下は、置置が使用可能な場合は特委				※置置製品は可能と考え準備する			
ラジオ	台	1	○		電気ポット	個	1					
地図	冊	1	○		電子レンジ	台	1					
使い捨てカイロ	個	4日分程度	○		携帯電話充電器	台	1					
携帯電話(代用)	台	1	○									
非常食(缶詰)等	個	数個	△									
ベンチコート	枚	人数分	△									
防寒靴(長靴)	個	人数分	△									
枕	個	人数分	△									
スリッパ	足	人数分	△									
拡声器	台	1	△									
養生シート	枚	2	△									
CB無線(ワンパー)	台	人数分	△									
傘	本	人数分	△									
使い捨てカメラ	台	適量	△									
石鹸	個	適量	△									
タオル	枚	20	△									
ティッシュ	箱	10	△									
水なしシャンプー	本	2	△									
洗濯石鹸	箱	1	△									
関係票	枚	100	○		事務用品は、左記に同じ				事務用品は、左記に同じ			
カルテ2号用紙	冊	2	○		※以下は、置置が使用可能な場合は考慮							
処方箋	枚	100	○		パソコン	台	1					
大字ノート	冊	5	○		プリンター	台	1					
ゼロハンテープ	台	1	△		コピー機	台	1					
ハサミ	台	3	△		プリンターインク	セット	1					
カッター	台	2	△		FAX	台	1					
手拭紙	本	1	△		USBストレージ	台	1					
A4用紙	箱	2	△		テプラ本体	台	1					
フォルダー(青)	台	100	△		テプラテープ	セット	1					
筆記用具	台	適量	△		コピー用紙A4	箱	1					
消滅紙	枚	5	△		※以下は書類整理のため							
カラーマジック	セット	1	△		穴開けパンチ	台	1					
パソコン(無黒PAN)	台	1	△		ホッチキス	台	1					
					ホッチキス針	箱	1					
カセットコンロ	台	1	○									
カセットボンベ	本	適量	○		炊事具類は、左記に同じ				炊事具類は、左記に同じ			
鍋	台	1	○									
ケカン	台	1	△		※水道の使用が可能であれば考慮				※水道の使用は可能と考え準備する			
割り箸	箱	100	△									
使い捨てスプーン	箱	50	△									
紙コップ	箱	100	△									
紙皿	箱	100	△									
紙どんぶり	箱	100	△									
軍手(作業用)	足	5	△									
レトルト食品	個	適量	○									
カロリーメイト等	個	適量	○									
パックご飯	個	適量	○		食品は、左記に同じ				食品は、左記に同じ			
缶詰	個	適量	○									
ペットボトル水	本	適量	○		※現地調達が可能であれば考慮				※現地調達も可能と考え準備する			
お茶	本	適量	△									
野菜ジュース等	本	適量	△									
日本茶(ティーパック)	パック	適量	△									
インスタントコーヒー	個	適量	△									
パン	個	適量	△									
カップ麺	個	適量	△									
チョコレート等	個	適量	△									
果物(バナナ等)	個	適量	△									
漬物パック	個	適量	△									
その他												
風邪薬/リキナー(ロキソ)	台	1	△		医療薬品等	箱	適量		救急用ダンボール箱	箱	適量	
手回し充電ラジオ	個	1	△									
テント	張	1	△									
発電機	台	1	△									

### 活動状況報告書

日時	月 日 ( )	時間:	時	分	~	時	分			
チーム名					スタッフ: Dr 名 / Ns 名 / PHN 名					
診療場所					薬 名 / PSW 名 / 事務 名					
治療内容										
番号	氏名	生年月日	初・再	性別	再掲			病名	治療処置内容	備考
					老人	小児	妊婦			
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
診療者内訳			男							
			女							
			計							
特記事項										

# MEDICAL RECORD Re.

<b>ID</b>		<b>Date</b> dd / mm / yy / /		<b>Reception sign:</b>	
<b>Name:</b>			<b>Sex</b> <input type="checkbox"/> 1. M <input type="checkbox"/> 2. F		<b>Age</b> <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> M
<b>Present residence</b> <input type="checkbox"/> 1. Own house <input type="checkbox"/> 2. Relative-Friends house <input type="checkbox"/> 3. Camp (Name: ) <input type="checkbox"/> 4. Other( )					
<b>Address:</b>					
<b>Pregnancy</b> <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Past history</b> <input type="checkbox"/> Y (HT / DM / BA / Other ) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown			
<b>Vaccination</b> Measles <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown Tetanus <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Medication</b> <input type="checkbox"/> Y (HT / DM / BA / Other ) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown			
<b>Allergy</b> <input type="checkbox"/> Y (Drug / Food / Other) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Vital signs</b> BT _____ °C    BP _____ / _____ mmHg PR _____ / min    RR _____ / min Wt. _____ kg    Ht. _____ cm			
<b>Chief complaints</b> <input type="checkbox"/> Pain Site <input type="checkbox"/> Head <input type="checkbox"/> Chest <input type="checkbox"/> Abdomen <input type="checkbox"/> Others( ) <input type="checkbox"/> Trauma <input type="checkbox"/> Fever _____ days <input type="checkbox"/> Diarrhea _____ days <input type="checkbox"/> Watery <input type="checkbox"/> Bloody <input type="checkbox"/> Nausea <input type="checkbox"/> Vomit <input type="checkbox"/> Sore throat <input type="checkbox"/> Cough <input type="checkbox"/> Dyspnea <input type="checkbox"/> Skin problem <input type="checkbox"/> Eye problem <input type="checkbox"/> Ear problem <input type="checkbox"/> Appetite loss <input type="checkbox"/> Sleepless <input type="checkbox"/> Dizziness <input type="checkbox"/> Others ( )					
		<b>Follow-up Needs</b> <input type="checkbox"/> 1. Y (Physical / Mental / Sanitation / Other ) <input type="checkbox"/> 2. N			
<b>Dx No</b>	<b>Diagnosis(Dx):</b>	<b>Drug No</b>	<b>Dose:</b>	<b>Treatment</b> <input type="checkbox"/> 1. Wound care (minor) <input type="checkbox"/> 2. Wound care (deep) <input type="checkbox"/> 3. Injection <input type="checkbox"/> 4. Infusion <input type="checkbox"/> 5. Other	
<b>Relation to disaster</b> <input type="checkbox"/> 1. Y (New / Become worse / Both) <input type="checkbox"/> 2. N <input type="checkbox"/> 3. Unknown				<b>Drug sign:</b>	
<b>Outcome</b> <input type="checkbox"/> 1. Go home <input type="checkbox"/> 2. Refer( ) <input type="checkbox"/> 3. Admission <input type="checkbox"/> 4. Dead				<b>Dr. sign:</b>	

DATE	SYMPTOMS ( Dx No. / Diagnosis )		TREATMENT ( Drug No. / Dose )		SIGN ( Dr / Drug )
	Dx No.		Drug No.		